

# うるわし通信



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくらい内  
TEL&FAX:0744-47-3981  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

平成25年3月

## 福島原発災害満2年です

2年間をもう一度ふり返ってみたいと思います。

まず最初に起こったことは福島第一原子力発電所の爆発です。これにより広島に投下された原爆の170発分の放射能が大気中に飛び散ったと政府は言っていますが、京都大学原子炉実験所小出裕章助教は400~500発分と推定されています。

原子力発電の構造では炉心という部分があり、ここにウランが並べてあります。

これは原子炉圧力容器に閉じこめられて、これが更に原子炉格納容器で二重に閉じこめられているので安全だ。というのが国や電力会社の説明でした。

ところが現在、圧力容器はウラン自体の出す高熱で溶けています。格納容器も穴があいているのではないかと考えられていますが、これを見に行くことはできず、炉心が何処にどんな状態であるのかも分からない。

原子炉は放射能を無制限に放出

中であり、原発災害はまだまだ進行中なのです。

わたしたちは『歴史部会』を持っています。現代史ではアジア太平洋戦争の責任は軍部にあるとされましたが、実は政界・財界・マスコミ界もこれを助長していました。市民は情報を持たず、傍観者の立場でした。

しかし、現代は違います。

向上した市民社会は原発事故で発生する放射能が生物のDNAを破壊することを知っています。

わたしたちの会には『産廃部会』があり、ずっと産業廃棄物のもたらす危険・災害・健康不安に警鐘を鳴らしてきています。

これだけでも大変なことですが、原発問題はこの比ではないのです。

わたしたちは、あまりにも原発による発電に頼りすぎていたのではないのでしょうか。

これから先の電力エネルギーをみんなで考えるべきです、太陽光発電のその後の研究・開発はどうなっているのでしょうか。バイオマスは？地熱は？小水力は？

県も再生可能エネルギー開発に取り組み始めました。わたしたちは注目しています。

ちなみに福島県内の首長は原発の再稼働に賛成はゼロです。飯舘村の菅野典雄村長は「経済最優先の考え方をこれからも進めれば再び原発事故は起きる」と言っています。わたしたちは原発被害者の気持が本当に分かっているのでしょうか？



高田松原の「奇跡の一本松」

ひみこ  
3周年です！まほろばの里 卑弥呼

桜井駅北口の前に、通称「卑弥呼の里」があり、一日中明るい声が絶えません。その声につられて入り、ここを仕切る林三記子さんに話をうかがいました。 インタヴューア―浅川

浅川 この店を始められた動機や初期のご苦労を聞かせて下さい。

林 駅前の活性化を目的として桜井市商工会女性部が立ち上げました。石の上にも3年といいますが、ようやく基礎ができたと思います。

浅川 皆さん食べものの商売は初めてで、ご苦労されたのではありませんか？

林 味は桜井の家庭の味にしようとし、値段も安く設定しました。実は30年以前から、駅前で万葉まつりがあった頃から、女性部は「みたらし団子」を得意としていましたし、駅前でやってみたいとは、永年の思いでした。ほかに苦労したのは、女性部のボランティアでやるので、部員のローテーションですね。

浅川 お客さんはどんな人が多いですか？

林 もう多種多様ですが、歴史に詳しい人が多いですね。

浅川 駅前ですから観光客のナマの声も聞かれるのでは？

林 纏向に行ったけど何も無かった。栃木県から来た人です。すまへんと言いましたが、なんで私が謝らなあかんの（笑）

浅川 行政が実態に追いつかないということですか？

林 県内で駅前が暗いのは桜井と大和高田とよくいわれます。駅前はもっと明るくしてほしい。駅前が暗いと、人心も暗くなりますよ。

浅川 ほかに駅前についての要望がありますか？

林 駅前のタクシー駐車場にある三角のモニュメント。何のために造られたのか、全く無用のしろ物で撤去してもらいたいです。

店も3月で満3年を迎えます。お客さんへの感謝サービスとして3月24日（日）に「ひみこ ぜんざいの無料ふるまい」をします。どうぞお誘い合いの上、お出かけ下さい。お待ちしております。

\* 帰りに問題のモニュメントを見ました桜井市水道課など、もう現在は名称が変わっている名前も並んでいました。



まほろばの里 卑弥呼



地元の名産品も多数取り揃えています

## 初めてです！箸墓立ち入り調査

2月20日箸墓古墳の立ち入り調査が行われました。永年にわたって古墳といえど、国民の文化財であり、研究対象としてほしいという学界の要望を宮内庁が受け入れたものでした。

近年は宮内庁書陵部も定期的に古墳文化の資料を発表していることもあり、特別な新発見という花やかなものはありませんでしたが、学界が自分の眼で確認した事の意義は大きいでしょう。

これについて桜井市纏向学研究センターの寺沢薫所長は「日本書記の記述のように二上山系の芝山の石を使っているが、地元の石も使用している。現代では土器の研究も進み、年代の確定も誤差は凡そ20年くらいで、古墳築造の年代は魏志倭人伝にいう卑弥呼の時代に遠くない。箸墓は巨大古墳築造期の後半に当たり、前半期が纏向遺跡である。箸墓は纏向期の権力・知識の蓄積の成果と考えている。箸墓の解明のためにも、いっそう纏向の発掘・研究が重要な鍵を握るのです。邪馬台国大和説は学界でも最有力な説です」を語りつつ「ただし、マキムクの名はまだ全国的な知名度を獲得していない」そうです。

そして、「まず市民に纏向の意義や考古学の近年の研究成果を知ってもらいたい」と希望されました。

わたしたちも、市民の参加する学習会や研究発表会など協力を惜しむものではありません。



箸墓古墳

のみのすくね

## 野見宿禰の碑を建立 桜井記紀万葉プロジェクトだより

1300年程前、野見宿禰（のみのすくね）と当麻蹴速（たいまのけはや）が、相撲の祖とされま  
す搦力（すまひ）を相撲神社の地「カタヤケシ」で執り行  
われ、野見宿禰がここに勝利しました。この古事に因み、  
昭和37年には時津風理事長（元横綱双葉山）の率いる全  
幕の内力士の参拝と両横綱大鵬・柏戸関による奉納土俵入  
りが執り行われました。

この度、国際的な祭典でありました東京オリンピックに  
て国立競技場に勝利のモニュメントとして揚げられました  
野見宿禰画を作者の長谷川路可画伯遺族様のご理解を頂  
き、野見宿禰の古里である相撲神社に「勝利の聖」として  
有志により建立し、長く後世に伝えることになりました。  
皆様のご協力をお願いいたします。



「野見宿禰」画 故・長谷川路可作

問合せ先 藤井義晴：電話0744-43-7107



## 事務局だより

- 3月の常任理事会は3月30日（土）午後1時30分より「市民活動交流拠点」（まほろばセンター第1研修室）で行います。
- 第3回教育を考える学習会 「児童館活動をふりかえって」  
 日時 3月18日（月）午前10時～12時 場所 まほろばセンター 第1研修室  
 講師 倉田満氏（桜井市人権施策課主査） 参加無料  
 主催 うるわしの桜井をつくる会・教育部会  
 連絡 電話0744-24-2556 島岡

## お知らせ

### 「まほろばの里 卑弥呼」 開店3周年感謝祭 ひみこぜんざいの無料振る舞い

\*なくなり次第終了します

日時 平成25年3月24日（日）  
 時間 午前10時～午後4時  
 場所 まほろばの里卑弥呼

皆様のおかげをもちまして「まほろばの里 卑弥呼」が開店して早や3年が経ちました。それを記念して3周年感謝祭を開催します。商品を700円以上お買い上げ毎に1回抽選会何が当たるかはお楽しみ！  
 こどもたちには楽しくじ引きもあります。



**会員募集中** どなたでも(市外の方も)入会できます。くわしくは事務局まで。  
**年会費 個人 ¥2,000 法人 ¥20,000**

**編集後記** うるわしの桜井をつくる会も満3年を迎えようとしています。この3年間、いろいろなことがありました。その中で景観条例の制定など協働の成功例といえるでしょう。市民が市を変える活動は、今後ますます活気を帯びてくる筈です。他方、原発事故の発生は「原発神話」をあっさり打ち砕きました。その上、思いがけなく原発がなくても電力は足りていることを昨夏は証明されました。それでも原発を推進したい勢力が政治と結びついていることに市民は注意すべきでしょう。（あさ）

うるわし通信編集責任者  
 〒633-0091  
 桜井市桜井142-5-203  
 浅川 肇  
 TEL090-1961-6345